

学習活動の基礎的知識(1) 問題意識から研究課題へ

前回の宿題の確認

1. 前回から今回の授業までにあった授業について、自分で「よく作れた」と思うノートを紹介する
 - 各自のノートを持ち寄って、情報交換してみましょう
2. 地元の公立図書館、高校までの図書室について説明する
 - 名前、場所
 - 雰囲気、特徴など
3. 大学の図書館との違いを考えてみる
 - どのような違いがあるか、具体的に考えてみましょう

文献検索、資料収集

5月19日（水）14:40～15:25の図書館ツアーに向けての準備として、文献の検索のしかた、資料の収集などについて学習します。

文献検索（図書館の利用）

実際に図書館へ行って、図書館の利用について説明を受けます。

- 兵庫大学図書館: <http://media.hyogo-dai.ac.jp/lib/>
- 兵庫大学 OPAC (オンライン蔵書目録): <http://harmonis.lib.hyogo-dai.ac.jp/mylimedio/>

大学図書館のサービスの利用

- 資料の貸出
- レファレンス・サービス（「調べもの、探しもの、お手伝いします」）
- コピー・サービス
- 他大学の図書館などの利用
 - 閲覧: 他大学の図書館を利用できるように「閲覧依頼書」を発行
 - 複写: 文献のコピーを取り寄せる
 - 借用: 文献そのものを借りる
- 購入リクエスト

図書館での資料の分類

- 日本十進分類法 (NDC : Nippon Decimal Classification)
 - 資料の背に張られたシールに書かれている番号
 - 資料のテーマ (主題、分野) ごとに分かれている
(例) 芸術→スポーツ、体育→球技: 「783」

資料収集

資料の種類

- 参考図書(レファレンス・ブック)
 - 辞書、事典、百科事典、年間、統計資料、白書、文献目録など
 - 学問全般について知りたい場合は、事典類(百科事典、分野別の事典)が役立つ
- 新聞
 - 一般紙(全国紙:毎日、読売、朝日、産経、日本経済、地方紙:神戸新聞など)
 - スポーツ紙・レジャー紙(日刊スポーツ、サンケイスポーツなど)
 - 専門誌、業界紙、機関紙、広報紙
 - 比較的新鮮な情報を入手することができるが、情報が断片的な場合がある
- 図書 / 単行本:参考図書でも雑誌でもない図書
 - 文庫本、新書、専門書など
 - 特定分野の知識が体系的にまとまっている
 - そのかわり、できあがるのに時間がかかるために情報が古い場合も
 - 一次資料:オリジナルな内容を伝える資料
 - 二次資料:オリジナルな情報に基づいて書かれた資料(年鑑、索引、蔵書目録も含む)
- 雑誌、逐次刊行物(定期刊行物)
 - 一般雑誌(月刊誌、週刊誌など)
 - 学術雑誌(学術雑誌、論文誌、講演論文集、学術定期刊行物など)
 - 一般にいう雑誌よりも意味が広い
 - 特定分野の現状や新しい情報について、詳しい情報が得られて、内容もコンパクト
 - そのかわり、前提知識がないと、内容が読み解けない場合も
- CD-ROM、DVD-ROM(パソコンで利用)
 - 辞書、事典などを電子化(音声、画像、動画によって表現力が豊か)
 - 資料のデータベース(新聞記事などを電子化、検索の工夫が必要)
- インターネット上の情報(いつでも書き換えられてしまう、再検証ににくい)
 - マスコミのサイト(新聞やテレビなど報道機関)
 - 行政(政府や自治体)、企業・各種団体のサイト
 - 個人のサイト(日記、ブログなど)
 - フリーの百科事典(Wikipediaなど)、まとめサイト

ネットで資料を探す

大学図書館のサイトから利用できるものもありますから、チェックしておきましょう。なお、有料サービスのため同時アクセス数が制限されているものもあります。

- 全国のOPAC(蔵書カタログ)の検索
 - Webcat plus(国立情報学研究所:<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)
 - NDL-OPAC(国立国会図書館:<http://opac.ndl.go.jp/>)
 - カーリル(日本最大の図書館検索サイト:<http://calil.jp/>)
- 書店や古書店のデータベース
 - Books.or.jp(日本出版協会:<http://www.books.or.jp/>)

- 雑誌記事検索

- NDL-OPACの雑誌記事検索(国立国会図書館:<http://opac.ndl.go.jp/>)
- Web MAGAZINEPLUS(日外アソシエーツ:<http://www.nichigai.co.jp/database/mag-plus.html>)

- 電子ジャーナル

- J-STAGE(科学技術振興機構:<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>)
- ScienceDirect (エルゼビア:<http://www.sciencedirect.com/>)

- 白書、統計資料など

- 情報通信白書(総務省:<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/>)
- 統計調査結果(e-Gov 電子政府の総合窓口:<http://www.e-gov.go.jp/link/statistics.html>)

資料の探し方のポイント

資料を探すときに一番役立つのは「知っている人に聞くこと」ですが、自分でできることも多くあります。自力で資料(情報)を探すときのポイントを整理しておきましょう。

1. 自分だけ情報源をつくり、情報を集めるアンテナを立てる

- 新聞・雑誌やテレビ、インターネットなどで最新情報を入手する
- 図書館(大学、公立)、書店やインターネット上の書店を利用する

2. 本格的に調べる前に下調べをする

- 調べる対象のテーマについて大まかに知識を仕入れる
- とくに、専門用語は意味を確認して理解しておく

3. 芋づる式に探す

- 図書や雑誌の索引・参考文献に書かれている資料を読んでみる
- 複数の資料が参考文献に挙げている資料は、価値が高い!

4. 一次資料(オリジナル)を必ずチェックする

- 資料に書かれている情報をうのみにしない(二次情報かもしれない)
- 資料から、事実と著者の意見、引用(他の資料を参考にしたもの)を見分ける

5. 資料としての情報の鮮度と信頼性に注意する

- 鮮 度:インターネット>新聞>学術雑誌>図書>参考図書
 - インターネットは情報をすぐに公開することができる
- 信頼性:インターネット<新聞<学術雑誌<図書 参考図書
 - できあがるまでに多くの人や専門家によるチェックがあるほど、信頼性が高い

参考文献

- 学習技術研究会編著「知へのステップ 改訂版」, くろしお出版 (2006.10)
- 専修大学出版企画委員会編「知のツールボックス」, 専修大学出版局 (2006.04).
- 佐藤望編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦「アカデミック・スキルズ」, 慶応義塾大学出版会 (2006.10).